



CCEL Christchurch

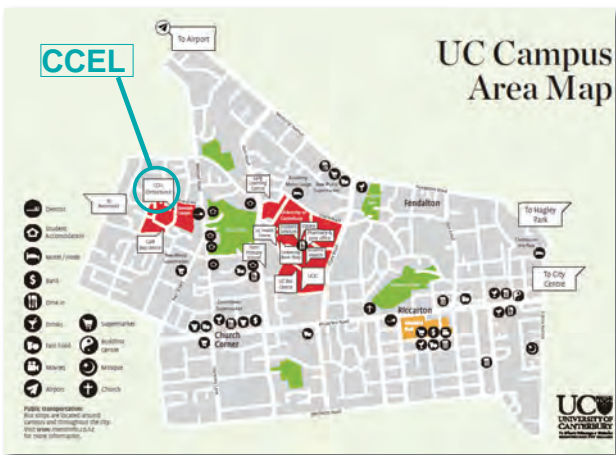
(ニュージーランド・クライストチャーチ)

CCEL クライストチャーチ英語研修

※カンタベリー大学パートナー英語センター

おいでよニュージーランドへ！ カンタベリー大学キャンパス内の英語学校

日本の7割の国土に、北海道と同じ人口の人びとが暮らすニュージーランド。無垢な自然、親しみのある人びと。慎ましやかで健康的なキーウィの生活に浸りながら、英語を学ぼう！



緑と花の「ガーデンシティ」 クライストチャーチ



ニュージーランドの南島、カンタベリー平野に位置するクライストチャーチは人口約37万人。南島の政治、経済、文化の中心、かつ南島最大の都市です。とはいえ、慌ただしいビジネス街の雰囲気は全くありません。1851年から始まったイギリス人移住者の手によって築かれたクライストチャーチは、当初からエイボン川を中心に基盤の目のように区画されました。エイボン川両岸には柳の並木が続き、また、街の中心部の半分を占めるハグレー公園は市民の憩いの場となっています。歴史的な建造物と花と緑に彩られた公園や庭園が点在し、都市と自然が見事に調和しています。町の名は1848年に設立された移民団組織カンタベリー協会を率いたアイルランド出身の政治家ジョン・ロバート・ゴドリーの出身校であるオックスフォード大学クライストチャーチ・カレッジに由来しています。町のたたずまいにも、どこかイギリスの面影が漂い、訪れる人の心を和ませています。

国立カンタベリー大学の パートナー英語センター CCEL



国立カンタベリー大学のパートナー英語センターに指定されている英語学校 CCEL (Christchurch College of English) が実施する英語研修です。校舎はカンタベリー大学のキャンパス内にあり、学生は大学の図書館やカフェテリア、スポーツ施設なども使うことができます。

カンタベリー大学はニュージーランドにある8つの国立大学の一つです。学生数1.6万人の大きな大学で、ニュージーランドのキャンパスライフも味わうことができます。クライストチャーチの中心部から西に約7キロ、バスで30分ほどの、環境の良い住宅エリアにあります。

国際クラスで学ぶ一般英語 週20時間でしっかり学習



英語レッスンは月曜から金曜日。文法中心の受身の授業ではなく、リスニング、スピーキング、リーディングなど日常でも使える英語を実践的に学びます。クラスはテストをもとに学生の英語力に合ったクラスプレイメントがなされます。授業は国際クラス編成で、1クラスは15名以下、平均約12名にて行われます。クラス授業は1日4時間(週20時間)とオンライン自主学习が週約3時間、しっかりと学びの環境を提供しています。

《主な授業内容》

- Speaking, listening, reading and writing
- Vocabulary and grammar development
- Discussions of news and current affairs
- New Zealand culture and customs
- Skills for lifelong learning

■ 授業時間割の例 (週20時間 + Self Access)

時間	月	火	水	木	金
8:30-10:30	Language development and practice				
10:30-10:45	Break				
10:45-11:45	Skills development and practice				
11:45-12:00	Break				
12:00-13:00	Skills development and practice				
13:00-13:45	Lunch				
Anytime	eLearning 3 hours per week Compulsory				
Free time / Activities					

※ 2026年3月現在のスケジュールです。時期により、時間割が変更になる場合があります。

放課後はフリータイムを満喫 課外活動も楽しもう！

授業の後は、友人同士でクライストチャーチの町を散歩したり、映画鑑賞、エイボン川の舟遊び、美術館見学など、英語を使って友だちの輪を広げてみましょう。学校では放課後の時間を利用し、週2〜3回程度の割合で、会話クラブ、スポーツ、英語学習の質問に答える Study Clinicなどが行われています。



会話クラブ

クッキング

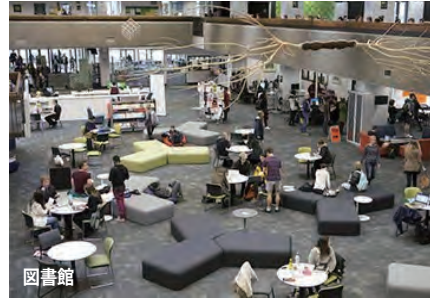
キーウィ流のライフスタイルを体験 ホームステイ滞在



ニュージーランドの魅力は「人」。人間より羊の数がずっと多いこの国では、どこか人びとの気質もおおらかでんびりしています。ホームステイを通じて、キーウィ流のライフスタイルを体験してみましょう。ホームステイ先は研修校が紹介をしてくれます。クライストチャーチ市内、近郊に広がる住宅エリアからの通学となり、学校まではバス通学が一般的。通学時間は平均30～50分ほどです。ホームステイ先では一人部屋と朝食の食事が提供されます。1つの家庭に留学生が何名か滞在することも多く、春・夏休みなど、留学生の多い時期は、同国籍の学生が滞在することもあります。

8～9月は大学の学期中、 キャンパスライフをアクティブに楽しもう！

南半球のニュージーランドは日本と季節が反対です。8～9月は冬となりますが、この時期のクライストチャーチの気温は平均最高気温が約13℃、平均最低気温が約3℃と比較的マイルドな気候です。また、北半球の大学と異なり、8～9月も学期中で活気があります。CCELは広大なキャンパス内にあり、さまざまな大学施設を利用できるのも利点です。カフェテリア、テニスコート、運動場、図書館など、ニュージーランドの学生生活を体験してみしましょう。



図書館

■ 研修日程・費用 (※航空券は含まれていません。下欄を参照ください)

CCEL クライストチャーチ英語研修 (2026年度・夏季)

- ・コース：集中英語 (週20時間)
- ・宿泊：ホームステイ (1人部屋・朝夕食付)
- ・到着 & 帰国時の空港送迎：クライストチャーチ空港～滞在先間の往復送迎付き

研修期間	開始日 → 終了日		研修費用
	(現地到着日)	(現地出発日)	
3週間	8月2日(日)	▶ 8月22日(土)	388,000円
	8月9日(日)	▶ 8月29日(土)	
	8月16日(日)	▶ 9月5日(土)	
	8月23日(日)	▶ 9月12日(土)	
4週間	8月2日(日)	▶ 8月29日(土)	478,000円
	8月9日(日)	▶ 9月5日(土)	
	8月16日(日)	▶ 9月12日(土)	
5週間	8月2日(日)	▶ 9月5日(土)	565,000円
	8月9日(日)	▶ 9月12日(土)	
6週間	8月2日(日)	▶ 9月12日(土)	655,000円

■ 研修費用に含まれるもの：

- 授業料 (週20時間)、教材費、入学金 ● ホームステイ滞在費 (1人部屋・朝夕食付) ● 到着時・帰国時のクライストチャーチ空港～ホームステイ先間の往復送迎費 ● UTS 手数料

■ 研修費用に含まれていない、その他の主な費用を以下に例示します：

- 往復の航空運賃 (研修日程に合わせた航空券を別途手配します。ご相談ください。) ● 海外旅行保険料 ● 滞在中の昼食代、通学交通費 ● 現地での個人的費用 ● ニュージーランド渡航認証 (NZeTA) 登録 (NZ\$23)、および国際観光税 (NZ\$100) ● 渡航諸手続き費用 (パスポート取得費用等) ● 実費にて参加するアクティビティの費用

※明治大学が案内する海外旅行保険への加入が必須となります。



■ 航空券手配 (UTSにて日程に合わせて別途手配。各自で自己手配も可能)

各自の日程に合わせた航空券をお調べし、UTSが提案・手配いたします。検討中の日程をメール、質問フォーム (下記 QRコード) からお知らせください。予約可能な複数の航空券のサンプル日程、運賃の見積りなどをご案内します。クライストチャーチ行きは運行便が少ないため、早目の航空券の手配がおすすめです。航空券は、別途各自の手配も可能です。

《研修手配》 ■ 研修や航空券の質問・相談はこちらから ▶

UTS 国際教育センター
株式会社ユーティエス

観光庁長官登録旅行業第714号

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会会長記念館ビル1階
TEL：03-6418-0711 E-mail：uts-group@uts-japan.co.jp



体験レポ！

■ 話す英語に自信が付きました！

先生たちはとても優しく、何かあったらすぐ対応して頂きました。学校の雰囲気も穏やかで、とても居心地が良かったです。授業では、ペアワークやグループワークが沢山あったのでクラスの間でも交流を深めることが出来ました。自分はスピーキングが苦手だったのですが、今回のCCELでの授業は話すことがメインで出来たので、英語で話すことに慣れて、前よりも自信を持って話すことができるようになりました。みんなでゲームをしたりしゃべったりも、とても楽しかったです。

週末には友達とアカロアのツアーに行きました。日本では体験できない雄大な自然を感じることが出来ました。丘の上からの景色が綺麗でおおすすめです。クライストチャーチは自然が多く空気もきれいで、とても過ごしやすく毎日が幸せな時間でした。ニュージーランドが大好きになりました。今後も英語で他国の人と交流したいです。(2024年8月参加Sさん)

■ 4年生最後であったが行けてよかった！

学校の規模は15人くらい入る教室が20教室くらい。スタッフ、先生は皆明るく挨拶してくれ、本当にいい方ばかりだったので感謝している。学校の雰囲気自体も明るく、授業後に、料理やスポーツ、会話クラブなどの活動などもあって楽しかった。ホームステイ先では生活や文化について多く学べた。地域で人気の料理やアイス、ニュージーランド流の休日の過ごし方などが勉強になった。たくさんのコミュニケーションで確実に1番リスニングの力が伸ばせた部分を感じた。参加してみて、英語力、そして海外文化や人を理解するには、実際に現地に行くのが1番だと改めて思った。様々な経験を通して海外に対するポジティブな思いがより具体的なものとなり、将来を考える一助になっていると感じる。本当に4年生最後であったが行けてよかった。(2024年8月参加Mさん)



滞在先の子犬と一緒にドライブ

■ 視野が広がり、成長出来たと感じる3週間！

3週間で自分自身かなり成長出来たと感じているため本当に行って良かったと思っている。コミュニケーション能力がかなり身についた。周りの目を気にしすぎないようになるなど今後の人生においても影響を与えるような研修だった。3週間で英語を完璧話せるようにはならなかったが、外国の人と関わる楽しさに気づけたので英語の勉強のモチベーションが高まり、日本にいる留学生と関われるプログラムに応募した。世界を知ることによって日本では体験できない文化を味わい、すごく視野が広がったと感じている。(2025年8月参加Nさん)

私の好きな街！

66 Christchurch

母校の名を町の名前に…。

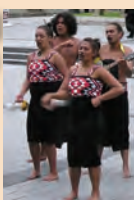
町の名前は、移民団組織「カンタベリー協会」を率いたジョン・ゴドリーの出身校、英国オックスフォード大学のクライストチャーチ・カレッジに由来しています。初期入植者の中には、同カレッジの出身者が多かったとか。市内中心部を流れるエイボン川 Avon River では「パンティング」という、母校の英国オックスフォードでも親しまれている舟遊びを楽しむことができます。



66 Treaty of Waitangi

ワイタング条約がもたらしたもの

1769年ジェームス・クックがNZに上陸して以降、急増するヨーロッパ人によって、マオリは先祖から受け継いだ神聖な土地を奪われてゆきました。土地の権利をめぐる争いにイギリス政府が乗り出し、マオリの族長との間でかわしたワイタング条約。これがマオリの歴史の分岐点となったのです。



66 Tram Way 「ゴトゴト電車」が行く！

1950年代に姿を消した路面電車。それが1955年に観光電車として復活しました。クラシカルな電車が、全長2.5キロメートルの環状レールをゴトゴト走る様子は、どこか懐かしさと微笑みさを感じさせます。



66 Moa, flightless birds

モアを追って来た先住民

ニュージーランドに生息した巨大な鳥「モア」を追って、先住民がニュージーランドの南島にやってきたのは1250年頃のこと。モアは飛べない恐鳥で、現在では絶滅しています。



66 Untouched World

オーガニックCafeも人気！

上質のNZ産メリノウールなどを使ったセーターやコート、シンプルなデザインのTシャツなどが人気のファッションブランド「アンタッチトワールド」。店舗に併設されたオーガニックカフェも人気です。自然なお庭の眺めも楽しめる、ナチュラルカフェを覗いてみましょう。



プログラム参加条件 申し込む前にお読み下さい

CCEL クライストチャーチ英語研修へのお申し込みは以下の条件でお受けします

プログラムの範囲

(1) このパンフレットで紹介するプログラムは、ここに記載する申込み条件に基づき UTS 国際教育センター(株式会社ユーティエス、以下「当社」といいます)が、申込者が希望する受入機関への入学申込手続きの代行、出発にあたっての情報提供などを行なうものであり、課程修了・資格取得などを保証するものではありません。受入機関での研修内容は各教育機関が独自に企画・運営・提供するもので、当社が自ら研修に関するサービスの提供を行なうものではありません。

(2) この研修は参加者の要望をお伺いし、それに沿ったサービスの手配を引き受ける「手配旅行」です。あらかじめ旅行内容等が決められている「募集型企画旅行」ではありません。

(3) このプログラムで当社が提供するサービスは以下の通りです。

■入学申込み手続き代行:入学願書の取寄せ、入学願書の作成、入学希望校への書類の送付および研修費用の送金、入学許可証(またはそれに代わるもの)取り寄せを行ないます。

■宿泊手続きの代行:研修期間に合わせたホームステイ・学生宿舎・ゲストハウス・ホテル等の申込み手続きを行ないます。ただし受入学校が宿泊施設を持たない場合、または宿泊施設紹介を行わない場合は、原則として宿泊手続きは行ないません。

滞在先の決定は、できるだけ出発前に余裕をもってお知らせするように受入校に依頼しますが、お申込の時期によって、また受入校の事情により、直前になる場合もあります。

■渡航手続きの案内:旅券・査証等の申請方法を案内します。旅券の取得はご本人で行なっていただきます。査証の取得も原則としてご本人で行なっていただきますが、査証の種類により取得代行を行なう場合があります。申請の代行を依頼される場合は所定の労金を申し受け、別途契約として代行を行ないます。

■交通機関等の旅行手配:参加者の希望により、受入校到着までの日本からの航空便、列車等の交通機関の手配を希望に応じて別途契約として申し受けれます。

お申し込み条件

(1) 留学を渡航の目的とし、当プログラム申込条件をよく理解し、受入国の法令および規則を遵守できる心身共に健全な人。

(2) 20歳未満の方は保護者の同意が必要。

(3) 慢性疾患をお持ちの方、妊産婦の方、現在健康を損なうが、身体の不自由な方で特別な配慮を必要とする方はその旨を事前にお申し出下さい。可能な合理的範囲内でこれに応じます。尚、この場合医師の診断書を提出していただくことがあります。状況に応じて介護者や同伴者の同行を条件とさせていただきます。または場合によってはお断りする場合があります。

(4) 当社は下記の事由によりお申し込みをお断りする場合があります。

■申込者が未成年で、親権者の同意がない場合。

■希望する受入機関への申込み期限あるいは留学時期までに留学手続きが完了できる見通しがない場合。

■申込者が受入国の法令、公序良俗に反する行為をする恐れがある、または受入校の研修の円滑な実施に支障をきたす恐れがある場合と当社が判断した時。

■希望校から入学が許可されなかった場合。

■その他、当社の業務上の都合があるとき。

お申し込み

お申し込みの際には申込書の提出と、入学手続き代行料(手続き手数料)をお支払い頂きます。お申し込みの成立は当社がお申込書と申込金を受領した時点とします。

留学費用のお支払い

入学の許可がおりた時点で、現地留学費用、および航空券代金等の旅行手続き諸費用の合計の請求書をお発行します。指定された期日までにお支払い下さい。当社は出発日の90日前までは、申込者に授業料等のお支払いを請求していません。ただし渡航先国や学校の制度によって90日前に費用の支払いが発生する場合は、この限りではありません。

お申込み後の取消し

【お客様による取消し】

(1) 参加者は以下に定める取消料を支払っていつでも留学を取消することができます。

(2) 取消料は、現地の受入日を基準として算定致します。(3) お申込みから8日以内はクーリングオフ期間とみなし、取消料はかかりません。但し渡航日の30日前(ピーク時^{*}にあっては40日前)以降の日は除きます。^{*}ピーク時とは、4月27日～5月6日、7月20日～8月31日、12月20日～1月7日までをいいます。

(4) お申し込み後に研修校の変更をされる場合は原則として申込みをお取り消しいただき、新たにお申し込み頂く形を取ります。その場合は以下の取消料が適用されます。

【取消しの方法】

電話のみによる取消し、変更はお受けできません。当社営業時間内に、書面にてお知らせ下さい。

■研修費用についての取消料:

取消日	取消料
お申込み日から起算して8日以内。但し受け入れの30日前以降を除く ※クーリングオフ	無料
お申込み後9日以降で受入日の31日前まで	33,000円(手数料)
受入日の30日前以降15日前まで	33,000円 + 研修費用残金の20%
受入日の14日前以降11日前まで	33,000円 + 研修費用残金の40%
受入日の10日前以降4日前まで	33,000円 + 研修費用残金の60%
受入日の3日前以降1日前まで	33,000円 + 研修費用残金の75%
受入日の当日及び無連絡不参加	33,000円 + 研修費用残金の100%

■航空券の取消料:

ご予約をお取りする航空券により異なりますので、ご予約時に各自にご案内いたします。

※クーリングオフ期間を除き取消の際、学校に支払うデポジットは一切返金ができません。

【返金の手続き】

研修開始前の取り消しにより、当社から返金がある場合は、上記の取消料を差し引き、返金を行います。現地通貨による金額は、お申込み時に適用したレートにより円換算の上、返金を行います。

研修開始後、留学先で研修期間の短縮・延長を希望される場合は、現地で受け入れ校の同意を得た上で行って下さい。日本出発後、又は研修開始後のプログラムの短縮又は途中退校の場合、費用の払い戻しは原則としてありません。ただし受入校が例外的に研修費用の一部返金を認めた場合は、その金額を申込者に代わって当社が代理で受領し、申込者に返還します。その際の換算レートは、振込日付けのTTBレート(東京三菱銀行の外貨→円貸建てへの現金為替レート)を適用します。

【当社からの解約】

申込者下記に記した事由が生じた場合、当社は参加者に通告の上、この条件に基づく契約を解約することができるとします。

(1) 申込者が虚偽の申告をしたとき。

(2) 病氣その他の事由により申込者がプログラムを続行できないと判断したとき。

(3) 申込者又はその関係者が、他の申込者に迷惑を及ぼし、若しくはプログラムの円滑な運営を妨げたとき又はその可能性が極めて高いとき。

(4) 天災地変、戦乱又は暴動、運輸機関等の事故又は争議行為、官公庁の命令、その他事業者の責に帰さない事由により、プログラムの実施が不可能になり、又は不可能になる可能性が極めて高いと判断したとき。

(5) 申込者が定められた期日までにプログラムへの参加に必要な書類を送付しなかったとき。

(6) 申込者が長期にわたる連絡不能又は所在不明となったとき。

(7) 申込者が定められた期日までに対価を支払わなかったとき。

前項に基づき解約された場合、既に支払われた費用については一切返金いたしません。また、解約により発生した申込み学校にたいするキャンセル料や損失は、申込者が負担するものとし、別途請求致します。

免責事項

当社は次に例示するような当社の責にやらない事由により、申込者が現地学校のプログラムに参加できなかった場合および出発時期が変更になった場合には、責任を負いません。

(1) 申込者がパスポートまたはビザを取得できず、日本出国もしくは渡航先国に入学拒否された場合。

(2) ビザ取得に時間がかかり、出発時期が変更になった場合。

(3) 郵便事情及び学校の事情等、当社が管理しえない事由により入学許可やその他の書類が届かずビザ申請手続きが遅延した場合。

(4) 申し込んだコース又は宿泊施設が定員に達して、手続できない場合。

(5) 天災、地震、戦乱、暴動、ストライキ等における不慮の災難、その他不可抗力による場合。

(6) 渡航後はご本人の責任において行動していただきます。ご本人の故意、過失、受入国の法令・公序良俗もしくは受入校・滞在先の公序良俗などに違反する等の行為によって生じた責任・損害等は全て参加者個人の責任となります。

よって現地での学校生活、及びその滞在中の事故などについて当社は一切の責任を負いません。また、それらの行動により当社が損害を受けた場合は、当社は参加者ご本人からの損害賠償を申し受けれます。

(7) 現地の祝日、学校が定める休校日の授業は行われません。この場合、授業料に関する払い戻しはありません。休校日の予定は変更・追加される場合があります。

(8) 当社は受入機関から送られてくる最新情報に基づき、留学プログラムをご紹介・手続きを行ないますが、各受入機関の事情により、受入条件・研修内容・滞在先・費用・その他プログラムに関して予告無しに変更される場合や実施されなくなる場合があります。その際、当社は変更に関する情報を当社が入手次第、ご本人に連絡いたしますが、留学プログラムに関する変更や中止については責任を負いません。

その他

(1) お客様と当社の契約は出発前に当社が事前に手配を行なった研修期間および滞在中の終了日までとなります。

(2) 当社はいかなる場合も、研修の再実行は行いません。

プログラム参加に関するお約束事項

(1) 各研修機関、受け入れ校からの要請により、参加者は出発前に任意保険(海外旅行障害保険)への加入が義務付けられています。保険は、日本の自宅を出発してから自宅に帰るまでの日付をカバーするものに加入して下さい。受入校では初日のオリエンテーション時に保険証書の確認を求める場合があります。クレジットカード付帯の保険は、必要な項目・金額をカバーできない場合がありますのでご注意ください。

(2) 現地の祝祭日は原則として休校となり、授業は行われません。基本的に振替授業は行われず、費用の払い戻しはありません。

(3) プログラムにより、特別な書類(健康診断書、各種予防接種証明書等)を必要とする場合があります。これらに係る費用は全て参加者の負担となります。

(4) 申込者は主催する学校の校則・規則により行動していただきます。プログラム内容は主催する学校の事情により変更されることがあります。

(5) 日本から留学学校の最寄り空港への航空便手配は一括して当社が引き受けますが、参加者自身が手配することも可能です。

(6) 受け入れ校で使用される教材は、貸与制(デポジットが必要な場合があります)やプリントを使用する場合があります。

(7) 留学中、規則を守らず勝手なふるまいが多く、プログラムの円滑な運営が妨げられると判断された場合は、ただちに帰国していただくことがあります。当社および受け入れ校は帰国に関する一切の責任を負いません。この場合、新たに購入する片道分の普通通貨の出費は本人の負担となり、参加費用の払い戻しはありません。

(8) 日本出発後、参加者がUTSに連絡を取るのに要した通信費は、ご本人の負担とします。

(9) お申し込みを受付けた後でも、年齢その他の理由で学校の判断により申し込みをお断りする場合があります。

個人情報について

当社は研修申込みの際に提出された個人情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど)については、参加者との連絡に利用させていただきます。申込みいただいた研修における現地受入機関・運送・宿泊等のサービス手配のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。この他では研修参加後のご意見や感想の提供のお願い、アンケートのお願い、統計資料の作成などに、お客様の個人情報を利用させていただきますことがあります。

UTS国際教育センター(株)ユーティエス

観光庁長官登録旅行業第714号 JATA正会員
JATAアウトバウンド促進協議会 教育旅行部会留学WG
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会会長記念館ビル1階
営業時間:月～金曜日9～17時
TEL 03-6418-0711 E-mail uts-group@uts-japan.co.jp